

1.背景・目的

- 道路事情等により、バスが時刻表どおり運行できない。
 - 利用者においては、バスが来ない、今どこにいるのかわからない。
 - 事業者においては、バスが来ないとの苦情電話の際、今どこにいるのかわからない。
- スマートフォン等の情報通信機器が急速に普及したことへの対応
- グローバル化の進展による訪日外国人への対応⇔県内観光地の円滑な移動は重要な課題(他言語対応)
※平成28年熊本地震により、既存のバスロケーションシステムはメインサーバが故障・修理不可

➡ **バスロケーションシステムの導入(多言語対応含) ⇒ バス運行の見える化・利便性向上**

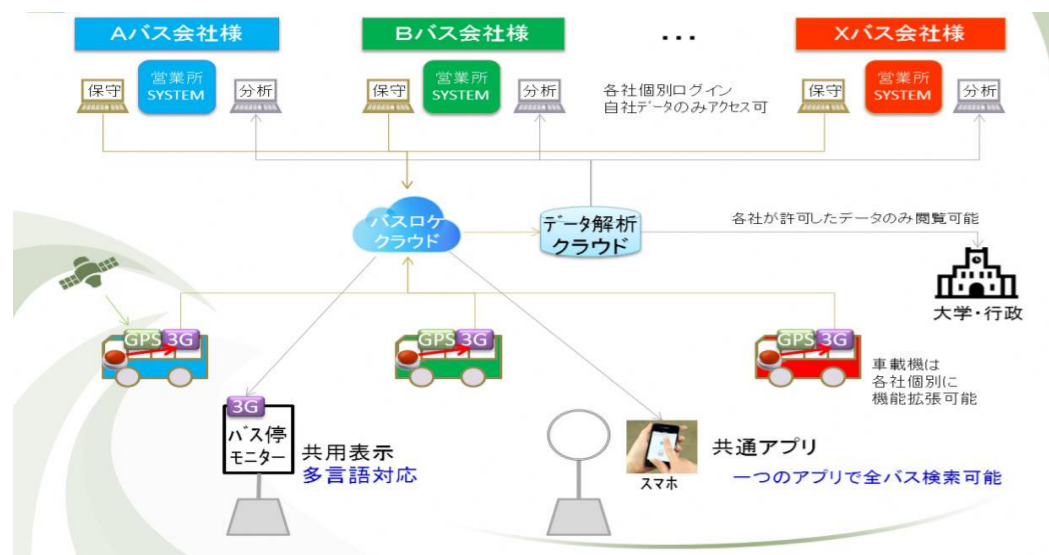
2.熊本市内 乗合事業者の現状(H29.10月末現在)

会社	九産交	産交バス	都市バス	熊本バス	電鉄バス	計
台数(台)	205	322	174	92	90	883
系統数(系統)	130	240	84	47	70	571
バス停数(基、概算)	3,000	4,000	800	800	800	9,400

※高速バス、定期観光バス、一部コミュニティバスなど除く

3.バスロケーションシステムの構成図

クラウドシステムの利用により運行事業者を問わず運行状況を一元的に管理する。



4.実施スケジュール

H29					H30					H31																								
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			

5.バスロケーションシステム内容

①スマートフォン



バス停を指定

バスの位置が分かる

詳細情報表示

◎利用者の検索方法

- バス停指定検索
- 現在地検索
- 地図から検索
- ランドマーク検索

②バス停モニター

路線番号	36pt	39pt	42pt	45pt	48pt	51pt	54pt	57pt	60pt
熊本市県前(下り)	36pt	39pt	42pt	45pt	48pt	51pt	54pt	57pt	60pt
空1	先行 阿蘇くまもと空港 (熊本空港リムジンバス) 産交バス 経由 県庁・グランメッセ								
空1	先行 阿蘇くまもと空港 (熊本空港リムジンバス) 経由 県庁・グランメッセ								
空1	先行 阿蘇くまもと空港 (熊本空港リムジンバス) 経由 県庁・グランメッセ								
空1	先行 阿蘇くまもと空港 (熊本空港リムジンバス) 経由 県庁・グランメッセ								
空14	先行 阿蘇くまもと空港 (熊本空港リムジンバス) 経由 県庁・グランメッセ								

※熊本市内の主要バス停約10ヶ所にモニター設置予定

③営業所管理画面



※運行実績を車両ごとにモニター可能

6.バスロケーションデータの活用方法、その他検討事項

- 運行実績データの活用 ... 遅れデータの蓄積により今後のダイヤ改正に活用
- 検索履歴データの活用 ... よく調べられたバス停や区間を蓄積し今後のダイヤ改正に活用

(その他)

- リアルタイムデータをオープン化しGoogleマップなど検索エンジンサイトでも運行状況が表示できるようになる
- 他社間乗継検索機能について検討中
- (例) 田迎から熊本大学に行きたい。田迎→交通センター(熊本バス)⇒交通センター→熊本大学(産交・電鉄バス)など